



図書館員がおすすめする

今月の推し本

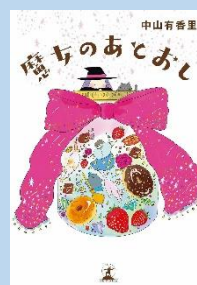


一般書

『魔女のあとおし』

中山 有香里／著（幻冬舎）

自分に自信が持てない看護師、田中桃子。
人と比べては落ち込み、自分を守るために
「いい人」でいる。そんな毎日を過ごす彼女は、
夢の中で小さな魔女と猫に出会う。
魔女の言葉に背中を押され、似合わないと言いつけていたスカートを
買い、それをきっかけに自分を好きになりたいと思い始める。
少しずつ勇気を出して行動していく桃子と、それを見守る魔女は
時には一緒に料理を作ったり、星空を見に出かけたり……。
温かで優しい時間がフルカラーで描かれたコミックです。



児童書

『大人も知らない？ふしぎ現象事典』

「ふしぎ現象」研究会／編

ヨシタケ シンスケ／イラスト

（マイクロマガジン社）

「見ちゃダメ！」と言われるとよけいに見たくなる。
ぶつけたひじがしびれてビリビリする。
勉強をする気になった時に、親から「勉強しなさい」と言われると、
やる気がなくなる。
日常生活でこんな体験ありませんか？ 実はその現象、名前があります！
この本ではそんな「ふしぎ現象」が56種類紹介されています。
名前を覚えて周りの人に教えてあげたり、みんなで「あるある」と
おしゃべりしたり、一人でも大勢でも楽しめます。

